

社協 あさひかわ

はじまりは あなたの笑顔から

[2・3・4ページ] **〈特集〉あなたは誰かとつながっていますか？**
[5ページ] **こどもページ**



ゴミ拾い活動を実施している愛宕ミニバスケットボール少年団の皆さん

この広報紙は、地区社会福祉協議会・市民委員会を通じて各町内会役員等、皆様のご協力により各世帯へ配布されています。
配布にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

市民の声

皆さんからの

安心見守り事業・つながりづくりについて

- 私「おひとりさま」でして、「孤立死」は、決して他人事ではありません。少しでも社会貢献したい気持ちは、誰にでもあるはず。それが困りごとを地域で支えあう仕組みづくりへつながると思います。
(永山第2地区 56歳・男性)
- プライバシーは大切だが、孤立しない、させない事も大事なので難しいですね。
(春光西地区 59歳・男性)
- どこの地域でも近隣住民の皆様で安心して見守っていただければ良いです。これからも「安心見守り事業」の様子のお知らせをお願いします。
(豊岡地区 61歳・女性)
- 神華ふれあいサロンの記事(第161号)が印象的でした。人口が減っていく中、このような寄り添える取組は今後ますます必要になってくると思います。また記事にしてください。
(旭星地区 47歳・女性)

こどもページについて

- こどもページを読んでみて、自分も、今できる事をやってみよう、特別な事ではなく、普段の何気ない事でも誰かの助けになるのだなと思いました。
(東豊中央地区 20歳・女性)
- たまたまお母さんに「中学生なんだから読んでみなさい」と言われ、初めて「社協あさひかわ」を読みました。安心見守り事業やふれあいサロン事業などたくさんの活動があるので、私には何ができるかなと考えました。
(春光中央地区 12歳・女性)

編集委員から

今年度は、孤立を防ぐ・つながりをつくる取組について、継続して取り上げてきましたが、今回も特集記事として「あなたは誰かとつながっていますか？」を掲載しました。
今後も各地区で展開されている様々な活動をご紹介していきたいと考えていますので、社協あさひかわをご覧になった皆様が、助け合い・つながりづくりのために、今できることを考える一つのきっかけとしていただければと思います。

赤い羽根共同募金について

- 私も小学校・中学校時代、生徒会の活動として赤い羽根共同募金の呼びかけを行っていたことを思い出しました。大人になり、募金の呼びかけをする事はなくなりましたが、「募金」という形で参加したいです。
(旭星地区 30歳・女性)
- 子供達が赤い羽根共同募金運動にボランティアに参加している姿を目にする度に、私達大人もしっかり協力しなくてはと実感します。社協あさひかわを読むと、募金が何に使われているかよくわかり参加しようと思います。
(愛宕地区 49歳・女性)

旭川市共同募金委員会から

毎年「共同募金運動」には、色々な場面でたくさんの皆様にご協力をいただいております。皆様の「おもいやり」が福祉の輪となって支援を必要としている方々に届けることが旭川市共同募金委員会の役目だと思っております。来年度も、ご協力をよろしくお願いいたします。

社協クイズ

★SHAKYO QUIZ★

共同募金
図書カードを
プレゼント!!

問題 地域での孤立を防ぐために重要なことは? つ〇〇〇りづくり
〇に当てはまる文字は何でしょう? [ヒント]2~4ページを見てね!

【応募方法】はがき・FAX・Eメールにてクイズの答えと「社協あさひかわ」に関するご意見やご感想、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、ご応募ください。正解者の中から10名様に1,000円分の図書カードをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
【応募締切】平成25年6月30日(日)まで **【応募先】**下記、旭川市社会福祉協議会まで

社協クイズの答え

- No.161 問題 今年度から名前が変わった、見守り活動の事業名は?
答 安心見守り事業でした。
- No.162 問題 共同募金運動のシンボルは?
答 赤い羽根共同募金でした。
たくさんのご応募ありがとうございました!

*皆様の個人情報は、プレゼントの抽選以外に使用いたしません。この場合においても当該個人情報は当協議会内により管理され、それ以外には開示されません。

社協に関して、わからないこと、聞いてみたいこと等ございましたらお気軽にお問合せください。

旭川市社会福祉協議会
〒070-0035 旭川市5条通4丁目旭川市ときわ市民ホール1F
☎23-0742/FAX 23-0746
Eメール chiiki@north.hokkai.net

神楽事務所 神楽3条4丁目1-18 ☎60-1710/FAX 60-1780
すすかけ 神楽岡10条5丁目1-28 ☎60-6222/FAX 60-6223
この広報紙「社協あさひかわ」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。
共同募金運動期間/10月1日~12月末日

あなたは誰かとつながっていますか？

地域での孤立が社会問題となっている昨今、旭川市社会福祉協議会では平成24年度から年齢制限などの条件を無くし、各地区社会福祉協議会においてこれまで以上に活発な見守り活動が展開されています。しかし、一方では「私は大丈夫」と見守りを拒否する人や町内会に加入していない人の状況が分からないなど、さまざまな課題も浮き彫りになってきています。今回は活動から見えてきた地域が抱える課題と今私たちができることは何かを探っていきます。

千代田地区は旭川市の東に位置する人口約1万5千人、5500世帯の地域です。昨年、地域の全世帯を対象にアンケート調査を実施し、全世帯の7割を4300世帯から回答を得ることができました。今回は調査を実施した千代田地区社会福祉協議会の田中啓一会長と同会田中宗夫事務局長に話を伺いました。



田中 啓一会長

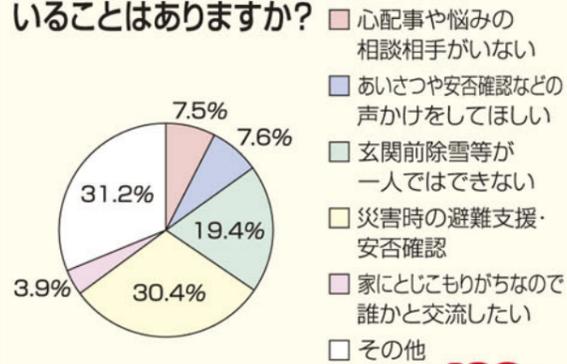


田中 宗夫事務局長

高齢者だけではなく若い世代も 想像以上に地域で孤立は増えている

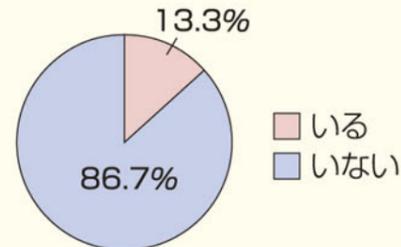
「見守りやサロン活動を始めて6年が経過し、地域の実情に合った活動が実践されているのかを確かめる必要があると考え、調査を実施しました」と田中事務局長は調査のきっかけを語ります。今回の調査結果で、最も気になった点について伺ったところ、「心配ごとや悩みを相談できない方が109名に上り（グラフ1参照）、また周りから見守りが必要だと感じる人が417人（グラフ2参照）もいる結果となりました（グラフ2参照）。

グラフ1 あなたが日頃、生活の中で困っていることはありますか？



心配ごとや悩みを相談できない人が**109人**
見守りを希望している人が**110人**

グラフ2 あなたのご近所に、見守りが必要だと思われる方はいますか？



周りから見守りが必要だと思う人が**417人**

約25%の方が 地域で活動したい

今回の調査結果をどのように活かしていくのかを伺ったところ「見守りが必要と回答した方が多い町内で話し合いの場を設け、今後の活動に活かしたい」「自分が活動に協力したい」と回答した方は1000人以上いる（グラフ3参照）ので、「こいつた声を活かしていきたい」と田中会長は決意を述べていました。

つながりのある地域へ

近年、地域での孤立死は頻繁に報道され、社会問題と なっています。今回の調査から地域の方も孤立することを望んでおらず、また孤立する人のためにできることをしたいという人もいることが分かりました。この二つの思いが重なれば孤立する人は少なくなるのではないかと思います。今私たち一人ひとりが「つながり」をいかにつくっていくのかを考えていかなければならないのかも知れません。

自分からつながりをつくる

「誰とも話さなくても生きていける社会で」

近年深刻化する孤立の問題、なぜここまで孤立という問題が浮き彫りになってきたのでしょうか。そして私たち一人ひとりにできることはあるのでしょうか。地域福祉や高齢者福祉を研究されている旭川大学保健福祉学部「コミュニティ福祉学科」の林芳治教授にお話を伺いました。



林 芳治教授

「合いのわずらわしさを避けるため、近所との付き合いがない人も増えてきています。結果として、近隣のつながりを深める機会だった町内会行事が減り、社会関係が希薄化し、さらに子どもと離れて暮らしている人が増え、親子で会う機会も制限され、気がついたら地域で孤立していたということもあると思います。」

自ら危機感を持って、元気なうちからつながりを作る意識を持つことが必要だと思います。

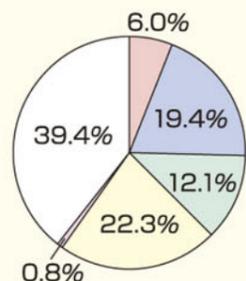
一人の方が気楽だという人は多いと思います。元気なうちはそれでも良いのですが、年齢を重ねれば重ねるほどできることは少なくなり、気が付けば孤立してしまうということになりかねません。

現在は商店の営業形態の変化、インターネットの普及などによって大変便利な社会になりました。多少のお金を持ち、健康でさえあれば、誰とも関わらなくても生きていける社会になってきています。しかし、人付き合いをしなくても生活できるが故に、人付き

また、孤立は決して高齢者だけの問題ではありません。ある町内で研修会の講師として参加した際に、アンケートを実施したところ、20代の女性から「就職で旭川に来たばかりで、つながりができると思い参加しました」との回答がありました。この女性は自ら声を上げ研修会に参加してくれましたが、自分から声を上げることができない人も多いのではないかと思います。現在は携帯電話やパソコン上で気軽に連絡を取ることが可能になりましたが、その中で実際に同じ時間と同じ空間を共有できる人がどれだけいるのかを自分で見つけなおす必要もあると思います。

孤立の問題は理解していても、今はそれほど危機感を抱いていないという人は多いと思います。しかし、介護や周囲の助けが必要になってからつながりを作ることからは容易ではありません。10年後、20年後を見据えて、元気なうちから意識して、外出を心がけ、人と出会う機会をわざわざ作る必要があると思います。

グラフ3 自分のできる範囲で協力しても良いと思う活動があればお答えください。



地域活動に協力したいひとは**1,000人以上!**

- 一人住まいの高齢者等の心配事や悩みの相談相手
- あいさつや安否確認などの声かけ
- 隣近所同士のちょっとした困り事の支援（電球の取り換え等）
- 町内行事への手伝い・参加
- 今まで興味のある活動はあったが、どこに相談して良いか、窓口が判らなかった。
- その他

こどもページ

このページでは、みんながいっしょけんめいやったこと、ひとのためにしたことなどをしょうがいするよ。こんがいのこどもページは、おせわになっている学校や地域のひとたちのために、ゴミひろいをしたはなし。



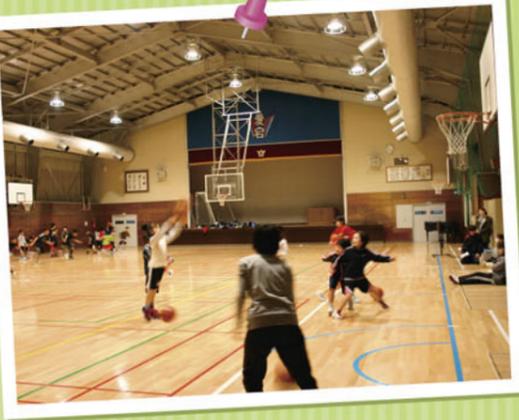
愛宕ミニバスケットボール少年団

わたし 私たちも普段からのゴミの分別もしっかりしなければいけないと思う。

がっこう しゃうへん やっぱり学校の周辺がきれいだと思ひしい、普段からゴミを見つけたら拾ひたいと思ひう。



寒さも厳しくなり始め、冬の足音が聞こえてくる秋の暮れに愛宕小学校の周辺のゴミ拾いをして子どもたちがいました。愛宕ミニバスケットボール少年団6年生のみなさんです。毎年雪の降る前と雪解け後に実施しているゴミ拾いの活動取材しました。愛宕ミニバスケットボール少年団は、これまで全国大会に何度も出場し、全道大会には毎年のように出場しています。



愛宕ミニバスケットボール少年団 監督 成松 京子

空き缶やタバコ、犬のフンなどいろいろなゴミが捨てられていて、マナーが悪い人が多いと思ひう。

バスケットボールのことだけではなく日頃からのあいさつや活動を支えてくれる親や学校、地域のみなさんに感謝することをみんなに伝えています。今回のゴミ拾い活動もその一つで、楽しみながら活動に取り組んでいる子どもたちの姿に私自身も教えられることも多いです。

きみがいまでできることをみつけてみよう！

おうちのカタへ

自分のことだけでなく、周囲の人に支えられて活動することを知り、感謝の気持ちをもって活動している子どもたちの姿は、人間関係が希薄化し地域での孤立が叫ばれる今、私たち大人が逆に見習わなければいけないのではないかと感じました。他人に干渉しないのではなく、お互いに助け合い、感謝し合うことが地域での絆を深めていくことにつながっていくのではないのでしょうか。

わからなければ、おうちのひとにきいてみよう！

みんなの活動 募集しています！

くわしくは…

☎23-0742

新たなつながりをつくるために

市内で生まれている活動

地域での孤立が叫ばれる中、これまでには見られなかった新たな活動が旭川市内で生まれています。そのような活動の一例をここでは紹介していきます。

マンション入居者が地域とつながる



佐藤 伊久雄 会長

大成地区は市内中心部に隣接し、大型マンションが多く、入居されている方が多く、入居されている方の実態が分からないという課題がありました。そこで、平成21年度から地区社協や民生委員、地域包括支援センターなどが連携して「まちづくりの会」を開催し、大型マンション入居者の実態を調査する「つながりマップづくり」に取り組んできました。調査の中で、単身高齢者が多いことに加えて、子育て中の若い世代の方も多いことが明らかになりました。

かになりました。身近な交流の場の必要性について話し合い、平成24年度から個人宅を解放したサロン、マンションの共有スペースを活用したサロン、空き家を利用したサロンといった地域の長所を活かした3つのサロンが新設されました。大成地区社会福祉協議会の佐藤伊久雄会長は「参加者からも『いろんな人に会えることが嬉しい』『みんなで話をすると楽しい』といった声をいただいています。地区に住む一人ひとりの住民の思いを大切にしながら、地域のつながりをこれからも広げていきたいと思います」とお話しくださいました。つながりをつくりたくても人をつくることはできません。大成地区で生まれたみんなの居場所は、地域のつながりをつくるために必要不可欠なものになっていきます。



同じ悩みを抱えた人がつながる

「認知症サポートセンター」

「認知症の方を介護する家族同志で話し合えるような場がほしい」という介護者の声がかきつけとなり、認知症サポートセンター家族交流会は始まりました。介護をされているご家族が「ホッと息、心安らげる場」として、2カ月に一度茶話会を開催しています。現在はご家族の皆さんが中心となり、当事者組織である「家族会」の立ち上げに向け話し合いを重ねています。今後、介護者の皆さんが一人で抱え込むことなく、同じ立場の介護者とのつながりを感じながら介護に向き合えるよう支援の輪を広げていきます。

「配食サービス事業」

「みんなで食事や交流がしたい」「配食サービスを利用される方の声を受け、食をみんなで一緒に楽しむ食事会」を開催しています。今年もサービスを利用される方と近所の方が一同に会し、食事や会話を楽しむ中で「新たなつながり」が生まれました。ここで生まれたつながりを活かし、地域の皆さんとともに、日常的な交流の場づくりを進めていきます。

今年もまた 大雪 かも!?

特別仕様 1台分カーポート 限定10台

全部で 370,000円

特別仕様も承ります!! ※とい工事と仕上げ塗装は別途

(株)協和機工製作所 旭川事業所 TEL(0166)58-0011

旭川市東鷹栖東2条1丁目137番地377 タウンページ(電話帳)の広告もご覧下さい。

協和機工製作所 検索 http://www.kyouwakikou.co.jp

車椅子のまま ショッピング・転院など、外出をお手伝い致します。

ご乗車頂けるタクシーです!!

正社員募集!!

① 介護タクシー乗務員 ② 福祉タクシー乗務員

■資格・要2種免許、新卒可、ヘルパー2級以上

■給与/当社規定 週休日/当社規定

■待遇/当社規定により優遇、2種免許持ちはやりがいのある仕事です!!

未経験でもOK!!

ご予約・料金など、詳しくはお電話にてお気軽にお問合せください。お問合せはこちらの電話番号まで

旭川中央ハイヤー株式会社 旭川市東光1条5丁目2番1号 ☎(0166)33-3131

本社/旭川市緑町14丁目 TEL(0166)52-3641 URL http://www.chuuo-hire.com

いちばんの笑顔と出会う場所

ロワジュールホテル

www.loisir-asahikawa.com

ロワジュールホテル旭川

〒070-0037 旭川市7条通6丁目

TEL0166(25)8811

北海道最大の幼児体育教室 皆様に支えられて創立30周年

幼児体育・児童体育

子どもの夢を膨らませてみませんか?

マット・跳箱・鉄棒・ボール・なわとび・ドッチボール・サッカー・ゲーム等

【指導会場】旭川大谷さくら幼稚園・旭川白百合幼稚園・旭川ひばり幼稚園・旭川ひまわり幼稚園・旭川明原幼稚園(月2回)・名寄光名幼稚園・士別カトリック幼稚園・富良野リハビリセンター・旭川道新文化センター・西武教室・旭川ミネ東光・旭川山崎ワークス・旭川スポーツクラブフィット・旭川スタジオオクノ・深川ア・エール内スタジオ他全道各地のフジスポーツクラブ教室

【体育の家庭教師】ご家庭にて体育授業を個別指導しております。

フジスポーツクラブ

北海道唯一の幼児体育専門指導 <チャイルド・スポーツ>

お問い合わせ 旭川市神居3条21丁目60番地の8 ☎0166-61-0398



「共同募金運動」にご協力 ありがとうございました!



今年で4回目の「旭川冬まつり」小雪像作りに参加しました!

「赤い羽根共同募金」にご協力いただいた町内会・企業・市民の皆様、「歳末たすけあい募金」にご協力いただいた学校・団体・職場で働く皆様等、たくさんの方々の「おもいやり」をありがとうございました。皆様の「おもいやり」は福祉団体等の活動や福祉施設等の機器、車両購入等に助成されます。例年この運動に深いご理解をいただき心から厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

共同募金+歳末たすけあい募金 **26,075,363円**

種別	平成24年度実績額
戸別募金	13,245,304円
大口募金	7,747,600円
街頭募金	1,078,318円
その他の寄附金	1,315,567円
共同募金合計	23,386,789円
歳末たすけあい募金	2,688,574円
合計	26,075,363円

平成24年度「赤い羽根共同募金」は「支えあうココロ、未来へ。」プロジェクトとして、初音ミクとのコラボにより若い世代にも関心をもってもらうことができました。旭川市共同募金委員会では「赤い羽根サポーター宣言」と題し、北海道日本ハムファイターズ、エスポラーダ北海道の応援を受け、各イベント会場では一定額の募金をされた方に選手のグッズ等をプレゼントしました。



旭川市共同募金委員会 ☎23-0742

旭川生命保険協会から

福祉巡回車両を寄贈していただきました!



旭川生命保険協会は、高齢者が介護サービス等を受けながら安心して地域生活を継続できるまちづくりを目的とし、社会貢献の諸活動に平成元年から取り組んでいます。活動の一環である福祉車両の寄贈につきましては、平成5年以降、今回で5台目の車両寄贈となりました。本会では、認知症サポートセンター事業をはじめ、車両の活用を通して、地域に暮らすあらゆる人々が共に支えあい、安心して暮らせるまちづくりの推進に努めてまいります。

近文あい運動が 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞を受賞しました。

この度、近文地区社会福祉協議会が中心となり、平成17年12月より取り組んでいる児童の下校時間帯に行う見守り活動「近文あい運動」が、同賞の表彰を受けました。運動開始時と比較し、事故・犯罪発生率が減少するなど大きな成果が得られている他、活動を通じた世代間交流や地域のつながり構築など、今後も総合的なまちづくりへと発展することが期待されています。



ボランティアさんとつながっている、人にインタビューしました!

Aさんは市内で一人暮らしをしています。難病のために困っていることをボランティアさんが手伝ってくれています。

ボランティアセンター情報



Aさん(40代女性)

- どんなことを手伝ってもらっているんですか?
→ゴミ出しです。私は歩くことが難しいので、週に2~3回ゴミステーションに出してもらっています。朝、玄関先に置いておくと、いつの間にか持って行ってくれます。
- ボランティアさんに会ってみてどうでしたか?
→会うまでは不安でしたけど、会ってみたら「この人になら頼める!」と思える人でした。
- 手伝ってもらってどうですか?
→今までは50m先のゴミステーションまで車に乗って捨てて行っていました。今はお陰さまで身体的にも精神的にも楽になりました。
- 「まだボランティアをしたことがない人」にメッセージを!
→私は買い物に行っても荷物を持って歩くことが大変です。そんな、ちょっとしたことを手伝ってくれる人がたくさんいると、みんな助かると思います。

ボランティアセンターでは、困っている人とつながって、くれるボランティアさんを募集しています!

旭川市ボランティアセンター TEL 21-5550/FAX 23-0746
E-mail volunteer@north.hokkai.net Web http://www.asahikawa-volunteer.com

あさひかわしボランティアセンター

やりがいのある「福祉の職場」をめざす...あなたへ

福祉人材バンクは、「福祉の職場をめざす方」と「良い人材を求めている職場」との相談に応じ、福祉施設等の職業紹介と就職のお手伝いをします。公的な機関なので安心してご利用いただけます。

●●● 斡旋取扱範囲 ●●●

- 事業**
- 社会福祉事業(社会福祉法第2条)
 - 介護保険事業 ●障害者自立支援法に基づく事業
 - 行政が実施する相談所

- 職種**
- 介護職 ●ホームヘルパー ●看護職
 - 相談・支援・指導員 ●介護支援専門員 ●保育士
 - 事務職 ●栄養士・調理員 ●施設長・管理者 ●運転手等

★事前に求人・求職の登録を... **旭川市福祉人材バンク ☎23-0138**
http://www.fukushi-work.jp/

総合印刷(企画・印刷・デザイン・WEB・撮影・翻訳等)

株式会社プリコム旭川

NEW VALUE IS BUILT 新たな価値観を築く

本社 旭川市永山1条1丁目1-30 ☎079-8421
TEL.0166-21-8733 FAX.0166-27-8388

留萌営業所 留萌市栄町2丁目6-2 北嶋製粉ビル2F
☎077-0007 TEL.0164-42-8735 FAX.0164-56-4635
http://ns.pricom-a.jp/

映像メディアの明日を創造する

●TVニュース取材 ●TV番組制作 ●CM制作 ●スポーツ(野球・ゴルフ・スキー等)撮影
●ハイビジョン撮影 ●企業VP・ビデオソフト制作 ●プロモーション・PR映像 ●イベント・発表会記録
●フライダル撮影 ●DVD・CD-ROM制作

有限会社ビー・プランニング

代表取締役社長 岡田 功

旭川市7条通13丁目メディアビル3F
TEL 0166-25-8110 FAX 0166-25-6110 http://www.beepla.jp/